

---

## 「仰臥位前方アプローチで行う人工股関節手術における皮切位置の違いによる臨床成績比較研究」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2019年4月1日から2026年3月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターにおいて人工股関節手術を受けた全症例が対象となります（年齢、性別によらず）

#### 2. 研究の目的

変形性股関節症や大腿骨頭壊死症に対する人工股関節手術を当院では仰臥位前方アプローチを用いて手術を行っております。その皮膚切開位置に関しては従来大腿外側に約10cm程度の縦方向での切開で行ってききましたが、近年手術侵襲の低下、また創部の審美性という観点から、主に本邦において大腿前面（鼠径部）に横方向に切開を加える術式も行われております。この本研究の目的は、縦切開と横切開で行う人工股関節手術症例の臨床成績を比較することです。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2030年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2024年7月1日 開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

埼玉医科大学総合医療センターにて人工股関節手術を受けた患者さんのカルテ情報（一般診療情報、画像情報、治療成績に関するデータ）を用いて研究を行います。集められた情報は適切に管理（教員棟3F 305室の鍵のかかる棚に保管）されます。また、この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である乾洋が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

埼玉医科大学総合医療センター整形外科において入院治療を行った患者さんの一般診療情報および手術に関する情報・画像情報（カルテ情報を参照）や治療成績に関連するデータに関する情報を非侵襲的観察研究として取得します。

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

当センターにおける研究実施者

整形外科 医師 教授 乾 洋

整形外科 医師 助教 山下 哲

整形外科 医師 助教 大谷 武史

整形外科 医師 助教 佐藤 はな

### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話番号 049（228）3627（土日祝日を除く 8：30～17：30）

埼玉医科大学総合医療センター 整形外科 教授 乾 洋

○研究課題名：仰臥位前方アプローチで行う人工股関節手術における皮切位置の違いによる臨床成績比較研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター 整形外科 教授 乾